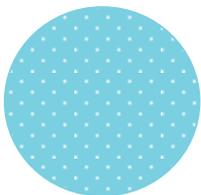




2019年度（令和元年度）

福山市子ども議会 報告・感想文集



2019年度（令和元年度）福山市子ども議会 報告・感想文集

目次

【第1章・開催報告】

実施要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P5
子ども議員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	P6
本会議までのあゆみ・・・・・・・・	P7
本会議の様子・・・・・・・・	P10
質問・提案と答弁・・・・・・・・	P12
意見発表会まとめ・・・・・・・・	P19
福山市子ども議会宣言・・・・・・・・	P22
子ども議会通信・・・・・・・・	P23

【第2章・感想文集】

感想文集・・・・・・・・	P27
--------------	-----

第 1 章

開催報告

2019年度(令和元年度) 福山市子ども議会

★ 子ども議会ってなんだろう？

小中学生が「議員」となり、福山市の現状や課題を調べ、若い世代の視点でまちづくりについて考えていきます。
本物の議場で行われる本会議では、市長と教育長へ、福山市の市政について質問・提案してみよう！



★ 主催

福山市、福山市教育委員会



★ 対象者

福山市に住んでいる、または市内の小・中学校に通う小学5・6年生、中学生。40名。

※応募条件

- ・「事前学習会」に参加できること。
- ・保護者の承諾が得られること。

★ 「本会議」開催日時・場所

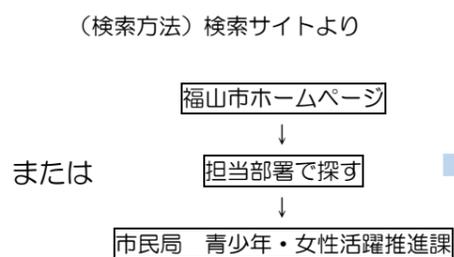
2019年(令和元年)10月20日(日) 13時30分～ 福山市議会「議場」

★ 応募方法

「自分が住んでいる“福山市”がこんな街になってほしい！」という自分の考えを所定の応募用紙に記入し、期限までに事務局へ持参または郵送してください。

- ・応募期間 2019年(令和元年)6月3日(月)～6月21日(金) ※当日消印有効
- ・応募用紙は、福山市のホームページからダウンロードできます。

福山市ホームページ



★ 決定

6月下旬に応募者全員に通知します。(応募者多数の場合は、選考を行います。)

★ 事務局・問い合わせ先

福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課
住所：〒720-0067 福山市西町1-1-1 エフピコRiM 地下2階
電話：084-928-1046

★ 本会議までの日程(原則全員参加)

開催日	場所	項目	内容
7月6日(土)(午後)	イコールふくやま	認定書交付式	認定書交付式とオリエンテーション
7月26日(金)(午後)	イコールふくやま	第1回事前学習会	市政について学び質問のテーマを決める
8月2日(金)(午後)	イコールふくやま	第2回事前学習会	「質問・提案書」作成
8月8日(木)(午後)	イコールふくやま	第3回事前学習会	「質問・提案書」作成
8月24日(土)(午後)	イコールふくやま	予備日	
10月20日(日)	議場	リハーサル・本会議	

★ 特別学習会(自由に参加)

開催日	場所	項目	内容
9月14日(土)(午後)	イコールふくやま	子ども議員・高校生議員合同学習会	ゲストをお呼びして福山の産業について学ぶ

★ その他

- ・参加に要する交通費等は、自己負担とします。
- ・活動中の事故等については、「福山市市民活動総合補償制度」を適用します。
- ・活動中の様子は、広報紙やホームページに掲載することがあります。
- ・子ども議員に採用された場合、出席日数に応じたまちづくりパスポートと、図書カード2,000円分をプレゼントします。

～2018年度子ども議員感想～



- ・たくさんの人となじめてとても充実した数カ月でした。
- ・市長・教育長と交流させていただく機会はすごく貴重なので、いい経験になった！
- ・議場が大きくて圧倒された。
- ・「自分の考えをおもいきって主張する」ということができるようになりました。
- ・他の学校の子たちとも交流が深まりました。
- ・福山市についてより深く知ることができた！



実現した施策もたくさん！

子ども議員名簿

(※学年・五十音順)

		名 前		学校名		備考
駅前活性化推進委員会	交通・移動 グループ	門田 小春	もんでん こはる	幸千中学校	2年	副委員長
		今川 沙稀	いまがわ さき	幸千中学校	1年	広報委員
		藤井 萌音	ふじい もね	幸千中学校	1年	広報委員
		石田 彩寧	いしだ あやね	川口小学校	6年	子ども議会宣言策定委員
		藤谷 快生	ふじたに かいせい	川口小学校	5年	広報委員
	活性化 グループ	足立 美咲	あだち みさき	中央中学校	2年	広報委員
		葛原 夢依	くずはら ゆい	盈進中学校	2年	議長
		竹森 咲結	たけもり さゆ	幸千中学校	2年	委員長
		葛原 秀悟	くずはら しゅうご	蔵王小学校	6年	
		星山 葉月	ほしやま はづき	曙小学校	6年	子ども議会宣言策定委員
暮らし・居場所づくり サポーター委員会	高齢者 グループ	酒井 茉莉子	さかい まりこ	中央中学校	1年	
		通山 愛唯	とおりやま あい	中央中学校	1年	副委員長
		増田 柚花	ますだ ゆずか	中央中学校	1年	
	障がい者 グループ	寺地 沙織	てらち さおり	神辺中学校	2年	委員長
		牧本 晴香	まきもと はるか	中央中学校	1年	
		毛利 美諭	もうり みゆ	西小学校	5年	
		山口 誠貴	やまぐち なるき	伊勢丘小学校	5年	広報委員
ICT教育推進委員会	小田 啓弘	おだ たかひろ	福山中学校	2年	広報委員	
	縄 恵太	なわ けいた	福山中学校	2年	委員長	
	新田 晟	にった せい	城北中学校	2年	副委員長	
	松本 拓真	まつもと たくま	幸千中学校	2年	広報委員	
	新良貴 稜	しらき りょう	中央中学校	1年	広報委員	
	高延 あい	こうのべ あい	伊勢丘小学校	5年		
	武田 あさひ	たけだ あさひ	日吉台小学校	5年		
自然破壊防止委員会	山本 憲誠	やまもと けんせい	加茂中学校	1年	委員長	
	平岡 愛菜	ひらおか あいな	引野小学校	6年		
	横平 菜緒	よこひら なお	引野小学校	6年		
	上野 凛人	うえの りんと	伊勢丘小学校	5年		
	北川 悠登	きたがわ ゆうと	伊勢丘小学校	5年		
	藤村 颯真	ふじむら そうま	津之郷小学校	5年	副委員長	
	柳川 稜空	やながわ りく	御幸小学校	5年		
地域の人と交流 Let's Go 委員会	藤井 萌百	ふじい もも	城東中学校	2年	副議長	
	田邊 凜子	たなべ りんこ	引野小学校	6年		
	間 実紅	はざま みく	引野小学校	6年		
	廣兼 優衣	ひろかね ゆい	宜山小学校	6年	副委員長	
	川上 ヒロ	かわかみ ひろ	樹徳小学校	5年	委員長	
	鈴木 孝明	すずき たかあき	樹徳小学校	5年		

本会議までのあゆみ

1 認定書交付式

日時：7月6日（土） 13時30分～16時00分

会場：男女共同参画センター 大会議室

（1）認定書交付

杉野副市長より、子ども議員一人一人に認定書が交付され、『自分たちの力でより良い福山をつくっていききたいというみなさんの強い気持ち、とても嬉しく、そしてとても誇らしく感じます。みなさんの考える理想の福山市に近づけるよう、みなさんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。

10月の本会議を楽しみにしています。最後まで頑張ってください。』とエールが送られました。緊張していた子ども議員も、名前を呼ばれると大きな声で返事をし、堂々と認定書を受け取りました。



（2）決意表明

小学5年生の子ども議員11名が子ども議員を代表して、「地域で支えあい、ふれあいが多いまち」、「みんなが安心して暮らせるまち」、「魅力的で住みたいと思えるまち」、「優しさあふれるまち」、「清潔できれいなまち」にしていきます、と元気よく決意表明をしました。



（3）ばらについての学習：教育総務課

ローズマインドについて、「ばらのまち福山」についてなど、ばらに関する様々なことを教わりました。ばら苗の育て方のレクチャーもあり、子ども議員は一人ずつ配布された苗を家に持ち帰りました。



（4）議長選挙

子ども議会本会議を進行する議長選挙を行いました。5人の立候補者が選挙演説を行い、それぞれ決意を述べました。子ども議員は演説にしっかり耳を傾け、投票をしました。

投票の結果、議長に盈進中学校2年生の葛原夢依さん、副議長に城東中学校2年生の藤井萌百さんが当選しました。



2 第1回事前学習会

日時：7月26日（金）13時30分～16時30分

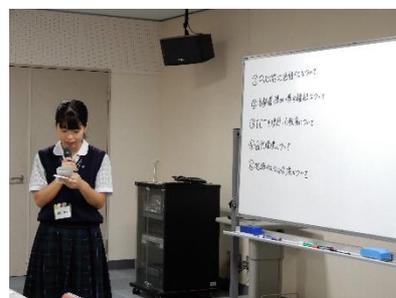
会場：男女共同参画センター 大会議室

（1）市政についての学習：企画政策課

企画政策課による市政についての学習をしました。福山の歴史や魅力、課題や未来に向けての挑戦などを、パワーポイントを用いて詳しく説明してくださいました。これから子ども議会の質問や提案書をつくるにあたって、福山のことをたくさん知れました。

（2）テーマ決めと班分け

子ども議会議長の進行で、テーマ決めと班分けをしました。興味・関心があるテーマを短冊2枚に書いて集約し、数の多かった5つを班のテーマとしました。子ども議員は興味のあるテーマを選び、希望する班に分かれました。どんな質問・提案がしたいかを班のメンバーで話し合い、次回の学習会に向け、準備を進めました。



3 第2回事前学習会・第3回事前学習会

日時：8月2日（金）・8日（木）13時30分～16時30分

会場：男女共同参画センター 大会議室

第2回事前学習会から、各委員会に担当課がついてくださいました。担当課の方から資料をいただき学習を深めたりお話を聞いたりしながら、質問・提案したい内容を具体的に話し合っていました。模造紙やふせんを使って、福山の課題や未来の福山について思いを出し合う委員会もありました。高校生サポーターの方にもサポートしてもらいながら、本会議に向けての質問・提案書を作成しました。フリップに絵を描いたり質問書にまとめたりするなど、委員長が中心となって役割分担をしながら協力して学習会を進めました。



4 子ども議員・高校生議員合同学習会：福山のものづくりを学ぶ

日時：9月14日（土）13時30分～16時00分

会場：男女共同参画センター 大会議室

市内のものづくり企業の方を招いて、福山の経済を支えるものづくりの現状について学習しました。今年度は、タカオ株式会社から代表取締役会長の高尾悦史様と会長室 室長 設計推進担当の高尾英宏様に来ていただきました。「海賊船ができるまで」という演題で、動画や写真、模型を交えながら大変興味深い講演をしていただきました。子ども議員からは、「すごい！」「見たことある！」と様々な反応があり、世界に誇れる会社について熱心にお話を聴いていました。



5 リハーサル

日時：10月20日（日） 9時00分～12時00分

会場：市議会議場

子ども議会本会議のリハーサルを行いました。高校生サポーターもリハーサルに参加し、午後からの本会議に向けて、みんなで動きや役割を確認しました。



6 本会議・意見発表会

本会議では、子ども議員は5つの委員会ごとに、フリップを使いながら質問や提案を行い、これに対して、市長及び教育長が答弁を行いました。

本会議終了後、市議会議場で意見発表会を行いました。代表者8名が子ども議会を経験しての感想や将来への抱負を述べました。最後には市長・教育長を交えての記念撮影をして閉会しました。（詳しくは次のページへ！）

2019年度（令和元年度）福山市子ども議会 本会議

1 日時 2019年（令和元年）10月20日（日）13：30～15：00

2 場所 福山市議会 議場

3 子ども議会本会議

- (1) 子ども議員紹介
- (2) 理事者紹介
- (3) 市長挨拶
- (4) 市議会議長挨拶
- (5) 開会宣告
- (6) 議事（代表質問）
- (7) 福山市子ども議会宣言
- (8) 子ども議会議長挨拶
- (9) 閉会宣告



本会議の様子

子ども議員は5つの委員会ごとに、フリップを使いながら質問や提案を行いました。たくさんの理事者を前に緊張していましたが、リハーサルで練習した通り大きな声で堂々と発言できました。子ども議員は、市長や教育長からの答弁を熱心に聞いており、子ども議会は無事閉会しました。

【子ども議員紹介】



【理事者紹介】



【市長あいさつ】



【市議会議長あいさつ】



【子ども議会議長・副議長紹介】



【駅前活性化推進委員会】

交通・移動グループ



活性化グループ



【暮らし、居場所づくり推進委員会】

高齢者グループ



障がい者グループ



【ICT 教育推進委員会】

【自然破壊防止委員会】

【地域の人と交流 Let'sGo 委員会】



【子ども議会宣言】

【子ども議会議長あいさつ】



各委員会の質問・提案と答弁

【駅前活性化推進委員会】質問・提案



交通・移動グループ：「福山駅までの交通・移動手段」について

質問・提案事項

私たち小・中学生が福山駅を利用する頻度が少ないことについて、「福山駅までの交通費が高い」「自転車置き場が少ない」などの理由が挙がりました。そこで、小・中学生にとってさらに福山駅が身近な存在になるように、交通・移動手段に着目して提案します。

- ① 福山駅までの交通手段が公共交通機関の人に対して、駅前での買い物が安くなるという割引制度をつくってはどうか。
- ② バスに乗るごとにポイントがもらえ、ポイントを貯めると素敵な特典と交換できる「バスパス」を作成したらどうか。
- ③ 駐輪場が少ないと思うので新たな駐輪場を設置してはどうか。また、盗難防止のため駐輪場にロックシステムを設置してはどうか。

市長からの答弁

①②について、公共交通機関を利用することで、利用者が便利に買い物や施設利用をできるようになることは、駅前に多くの方々に集まっていただき、駅前を活性化させる有効な手段だと思います。ご提案については、バス会社やタクシー会社、駅前のお店の方など、多くの皆様の理解と協力が必要です。こうした人たちと、公共交通機関の利用者に喜ばれ、乗っていただけるような仕組みになるよう検討していきます。

③について、鉄道の高架下や地下に駐輪場を設置してきましたが、全てのスペースが有効に活用されていないため、それらを有効活用することを考えています。そのうえで、「駅前再生のデザイン計画」の中で駐輪場の整備について検討する予定です。ロックシステムは広い場所が必要となるため、どのように活用できるのか研究したいと思います。

【駅前活性化推進委員会 交通・移動グループ】質問・提案の資料



【駅前活性化推進委員会】質問・提案



活性化グループ：「福山駅前の活性化」について

質問・提案事項

私たちの委員会では、福山駅前には夜店やばら祭りなどのイベントがあるときにしか来る機会がないという意見がありました。子どもや若者が楽しめて、日常的に来たくなるような福山駅前について考えました。

- ① 福山城やふくやま美術館周辺をライトアップしてはどうか。
- ② 10代・20代の若者が福山に興味・関心を持ち、「福山駅前にいきたい！」と思えるよう、インスタ映えする場所をつくってはどうか。
- ③ 子どもや若者が楽しくなる駅前活性化の取組を市ではどのようにしているのか。

市長からの答弁

①について、本市では駅周辺でのイベントや楽しい空間づくりに取り組んでいます。福山城の天守や伏見櫓、湯殿、月見櫓のライトアップについて、2022年までに本格的な整備を行う予定です。また、美術館前のプロムナードをライトアップする予定としており、福山城周辺の夜間景観の魅力を高めていきます。

②③について、これまでもばら祭りのときに駅前に大きなバラの飾り付けをしたり、冬にはルクシアタふくやまというイルミネーションの取組をしてきました。多くの若者が訪れ、その景色を撮影していました。このような魅力的な取組をすれば駅前に若い人が集まってくれます。提案にあった羽のデザインが書かれた壁についても、どのようにしたら実現できるのかを考えていきたいです。

【駅前活性化推進委員会 活性化グループ】質問・提案の資料



【暮らし，居場所づくりサポート委員会】質問・提案

高齢者グループ：「高齢者の居場所づくり」について



質問・提案事項

近年、「孤独死」のニュースが増えています。私たちが住んでいる地域には，一人で生活をしている高齢者が多いです。2025年には，高齢者が13万3千人を超えるという推計があることも知りました。そこで，高齢者と地域の人をつなぐ交流の場，健康づくりのための通いの場について考えました。

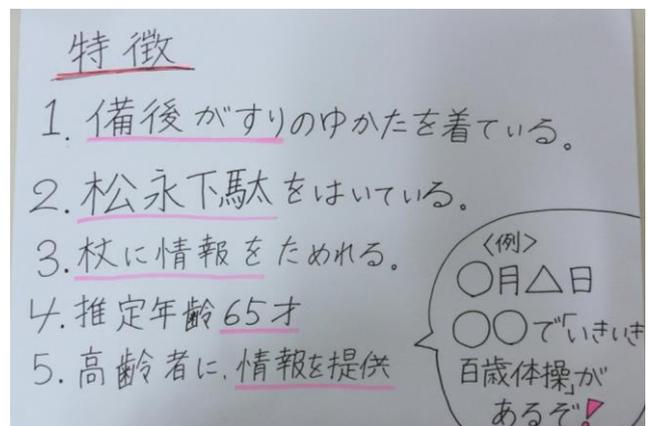
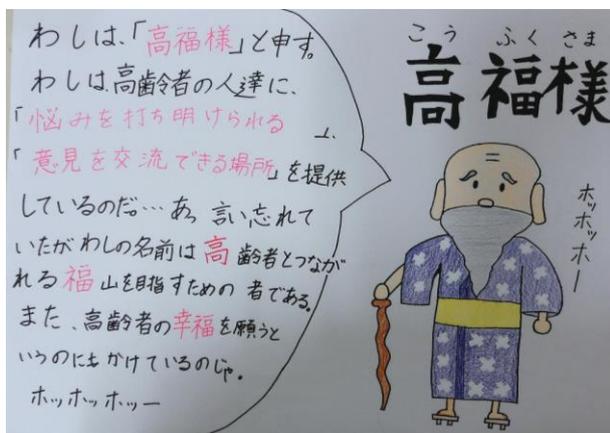
- ① 福山市には，どれくらいの数の「高齢者が集える場所」があるのか。
- ② 高齢者の集いの場をPRするキャラクター「高福様」を活用して周知してはどうか。

市長からの答弁

①について，高齢者が健康づくりや介護予防に取り組めるよう，「居場所づくり」や「いきいき百歳体操」などの普及に努めています。本年9月末現在，地域の集会所やふれあいプラザなどにおいて週1回開催している「サロン」は87か所，週2回以上開催している「居場所」は40か所，「いきいき百歳体操」は125か所で実施されています。

②について，高福様のような，親しみの持てるキャラクターの活用は，多くの方に集いの場を知っていただく有効な手段だと思えます。本市では，イメージキャラクターの「ローラ」もいますが，提案のあった高福様も活用しながらPRしていくように検討していきます。

【暮らし，居場所づくりサポート委員会 高齢者グループ】質問・提案の資料



【暮らし、居場所づくりサポート委員会】質問・提案
障がい者グループ：「障がい者への理解」について



質問・提案事項

私たちは、様々な障がいの中でも、聴覚の障がいと視覚の障がいに注目して考えました。小さい頃、耳が不自由な人に手話で「ありがとう」をしたところ、喜びながらほめてくれました。福山市では、手話を理解することで、みんなが安心して活躍できる社会の実現を目指す「手話言語条例」ができています。障がいのある人も安心して暮らせるよう、できることから始めていきたいです。

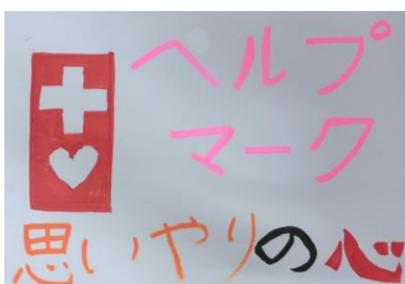
- ① 福山市における、手話に関する取組はどういったものがあるのか。
- ② 目の不自由な人のために私たちができることはどういったことか。

市長からの答弁

①について、本市では2017年12月に「福山市ところをつなぐ手話言語条例」を制定しました。条例の制定前から手話通訳者の養成等を行い、手話通訳者の派遣をしています。条例の制定後は、市役所の窓口到手話で対応できることを示した「手話マーク」を置いたり、市のHPで手話動画の配信を行っています。また、新採用職員へ研修を行い理解を深めるほか昨年4月から手話出前講座を開始し、多くの方に受講いただいています。

②について、すべての障がいに通じることですが、障がいについて知ること、どんな配慮が必要かを聞き、できる範囲で対応することが重要です。自分だけでなく、周りの友達にも理解してもらい、障がいのある人が安心して生活できる環境を意識し配慮することで、誰もが暮らしやすいまちづくりにつながるものと考えます。

【暮らし、居場所づくりサポート委員会 障がい者グループ】質問・提案の資料



【ICT 教育推進委員会】質問・提案

「ICT 教育機器を利用した教育」について



質問・提案事項

日々の授業で、プロジェクターや電子黒板などの ICT 教育機器を使い、友達と意見を交流したり、動画を見て理解を深めたりしています。画面に書き込みができるため、自分とは違った友達の考えを知ることができたり、ひとつの教科では見られない生徒の一面を、先生の間で共有できるのではないかという意見も出ました。ICT 教育機器を積極的に使うことで、苦手な教科も楽しく学ぶことができると考えます。

- ① 小中学校での ICT 教育機器の導入はどんな状況か。
- ② 授業で ICT 教育機器を活用している例はどういったものか。

教育長からの答弁

①について、2017 年度から小中学校のパソコン教室のパソコンをタブレット型パソコンに入れ替えています。2018 年度からは、小中学校の普通教室に実物投影機、電子黒板機能付きプロジェクターを各 1 台、特別支援学級には児童生徒用タブレット型パソコンを各学級 4 台、体育館には電子黒板を 1 台整備しています。特別教室では、音楽室や美術室などに実物投影機、電子黒板を各 1 台整備します。次年度以降も計画的に整備し 2022 年に全て完了する予定です。

②について、体育の授業では、跳んだり投げたりする姿をタブレット型パソコンで録画し、再生することで、体の動きをすぐに確認できるようにしています。また、中学校理科の「天気の変化」の授業では、4 日間の天気図を重ね合わせてプロジェクターで表示することで低気圧の移動をリアルに捉え、興味・関心を高める工夫をしています。

【ICT 教育推進委員会】質問・提案の資料



【自然破壊防止委員会】質問・提案



「自然環境」について

質問・提案事項

地球温暖化や大気汚染について、早急に対策をとらなければ今まで以上に深刻化することを知りました。そこで、福山市の取組や周知について関心を持ちました。私たちも、エアコンの温度の設定や、ごみの分別、公共交通機関の利用など、身近なことから取り組んでいきたいです。

- ① 地球温暖化を進めないための福山市での取組みはどういったものがあるか。
- ② 大気汚染対策の取組について市民の方にどのように周知しているのか。
- ③ 自動車の排出ガスを減らすために、公共交通機関の利用を市民に呼び掛ける機会を増やしてはどうか。

市長からの答弁

①について、市や事業所が協力して、クールビズや電気の一斉消灯、エアコンの設定温度の調節などに取り組んでいます。本年4月からは、家庭ごみを燃やして発電した、環境にやさしい電気を公共施設で使用し、地域で作った電気を地域で使用する取組を始めたところです。

②について、市内8か所で大気汚染物質を毎日測定し、オキシダントなどの濃度が高くなった時には、注意を促す情報をメール配信しています。自転車や低公害車の利用なども呼びかけています。こうした取組は「福山の環境」という本に掲載し、学校や公民館へ配布しています。小学生には、「わたしたちの暮らしと環境」という本を使って取組を紹介しています。

③について、市民や交通事業者などと、「公共交通を使いましょう」という「ベスト運動」を行っています。この活動では、バスまつりやJFE フェスタなどに出展し、パネル展示による呼びかけをしています。また、みなさんの学校で出前講座を行い、空気をよごさないための取組についてお話しています。今後も引き続き周知に努めていきます。

【自然破壊防止委員会】質問・提案の資料



【地域の人と交流 Let' sGo 委員会】質問・提案



「地域の人との関わり方」について

質問・提案事項

私たちは、日常的に地域の人と関わることが大切だと思っています。見守り活動で交通事故や不審者から守ってもらったり、高齢者の孤立防止に繋がるなど、地域の人同士が関わることでみんなが安心して安全に暮らすことができると思います。子どもから大人まで多くの人に関わりを持てるようになればと思います。

- ① 勉強やスポーツ、ボードゲームを教えてもらっているが、他の放課後子ども教室ではどのようなことをして地域の人との交流しているのか。
- ② 楽器や料理など、地域の人ので得意分野を私たちに教えていただくことで誰もが参加しやすい交流の場になるのではないか。

市長からの答弁

①について、現在、市内 41 か所で「放課後子ども教室」を実施しています。宿題以外にも、囲碁や将棋、琴、茶道などの日本の伝統文化を体験できたり、工作や手遊びなどを教えてくれる大学生のボランティア組織を活用している教室もあります。放課後の安心・安全な居場所になるとともに、世代を超えた地域交流が深まることにもつながっています。

②について、楽器やスポーツ、料理、昔遊びなどの、地域の人が得意としていることをみなさんに教えるという取組が広がっていくと、教わる側は多くのことを学べ、教える側はやりがいにつながると思います。より一層充実した体験活動ができ、誰もが参加しやすい交流の場となるよう取組を進めていきます。

【地域の人と交流 Let' sGo 委員会】質問・提案の資料



2019年度（令和元年度）福山市子ども議会 意見発表会

- 1 日時 2019年（令和元年）10月20日（日）15：10～16：00
- 2 場所 福山市議会 議場
- 3 意見発表会
 - （1）教育長あいさつ（講評）
 - （2）意見発表会（子ども議会の活動を通じての感想や将来への抱負を発表）
 - （3）記念品贈呈（市長から子ども議会議長へ）
 - （4）高校生サポーターあいさつ
 - （5）子ども議会副議長あいさつ
 - （6）市長・教育長を囲んでの記念撮影

子ども議員8人による意見発表

中央中学校2年 足立 美咲

福山に関心を持ち、意欲的に調べ、仲間と意見を交流できたことが良い経験になりました。

福山の知らなかったことを学んだり、より活力と魅力に満ちた輝く街になるためにはどうすればいいのか考えたりするなど、普段はできない貴重な経験ができました。

日常生活や学校でも仲間と協力して行動していきたいです。



曙小学校6年 星山 葉月

今回の子ども議会を通して、福山のことで、仲間と協力して何かを成しとげる大切さを学びました。

学習会ではみんなとの距離が縮まり、仲間としての良い関係が築けたと思います。素敵な体験ができました。本当にありがとうございました。



西小学校5年 毛利 美諭

子ども議会に参加してまちづくりに興味を持ちました。学校で、福山市の魅力再発見というテーマで学習をしていますが、学校では見つける事ができなかった魅力を見つけることが出来ました。将来、人の幸せにつながるような笑顔を増やせる職業につきたいです。



福山中学校2年 縄 恵太

いつも盛んに意見が出て、どんどん話し合いが進みました。この活動で学んだことは、諦めないことと挑戦してみることです。挑戦すると意外に自分に合っていたり、メンバーの役に立つと思いました。タカオ株式会社さんのお話は将来について考えるきっかけになりました。この活動は誰にとっても楽しく学ぶことができるものだと思います。



中央中学校1年 新良貴 稜

子ども議会に参加して、「福山市ってすごいなあ。誇れる街だなあ。」と思いました。僕も市民の一人として頑張ろうと思いました。

また、「色々な人と協力しあうことで新しい良さを発見できる」ことも知りました。



友達の意見から自分とは違う意見の良さを見つけて認めたりできるようになりました。

僕も、福山市を盛り上げる一員としてたくさん学び、体験して、成長していきたいです。

加茂中学校1年 山本 憲誠

前回子ども議員の仕事にとってもやりがいを感じ、今年も応募することにしました。



今回は、委員長になりました。班をまとめること、意見をまとめることがどれだけ難しいかがよく分かりました。子ども議会を通して色々なことを学び経験することができました。日々の学校生活や今後の将来につなげていきたいです。

樹徳小学校5年 鈴木 孝明

福山市のまちづくりについて、「このような形で福山市がつくられてきたのか。」と感動しました。

タカオ株式会社の会長の講演では、全国の遊具づくりのことやレゴパークをつくったことなどを聞き、「すごい会社なんだな」と驚きました。

子ども議会では、「人の意見をそんちょうする力」と「自分の意見も積極的に発言する力」をつけることができました。今回知ることができた知識を友達にも広めたいです。



城北中学校2年 新田 晟

子ども議会を経験し、多くの人と出会い、福山市について話し合い、たくさんの事を学びました。自分の考えを整理して伝える力を身につけたり、コミュニケーション力も



伸ばすことができました。来年はできれば議長となり、今までの経験と身に付けた力を活かし、さらに発展した子ども議会を築きたいです。私たちの福山市がもっと素晴らしい都市になるよう貢献していきたいです。

記念品贈呈

市長から記念品が贈呈されました。
子ども会議議長が代表して受け取りました。



高校生サポーターあいさつ

認定書交付式から本会議まで、
子ども議員のサポートをしてくださいました。
先輩からのエールに、子ども議員もしっかり耳を
傾けていました。



子ども議会副議長あいさつ

「副議長の役割は緊張しましたが、
たくさんの方に支えられました」と
締めくくりのあいさつを述べました。



記念撮影

最後は市長・教育長を囲んで記念撮影。
みなさん、お疲れさまでした！



「子ども議会宣言」

私たち子ども議員は、福山市の全小中学生を代表して福山のよりよい未来を目指すため、次のことを宣言します。

私たちは、福山の人たちが安心して暮らせる町、駅前が活性化し、笑顔あふれる町、学校でデジタル教材を利用し、勉強できる町、福山の環境を守り、自然と共存できる町、そして、地域が一体となり、交流できる町にしていきたいです。

たくさんの歴史をもった福山で暮らしている私たちは、福山の歴史を学び、人々の思いを知り、福山の人々の気持ちにこたえるため、精一杯努力します。

2019年（令和元年）10月20日

福山市子ども議会子ども議員

石田 彩寧

星山 葉月

ふくやま 子ども議会通信

第1号 2019年8月2日



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第1号 広報委員 藤谷 快生 ・ 山口 誠貴



7月6日（土）☆☆認定書交付式☆☆

2019年7月6日土曜日、交付式で子ども議員に認定されてうれしかったです。決意表明のときは、はじめてできんちょうしたけど最後までやりきれてよかったです。



これからは子ども議員としての自覚をもちながら、議員のやくめを果たして、知らないことなどをどんどん考えていけたらなと思っています。



☆☆ばらの学習☆☆



福山のシンボルが何故ばらなのか、福山は何故ばらの町なのかを学習しました。そして帰りには、プレゼントとして、「ローズふくやま」の苗をいただきました。福山をPRしていくためにばらを使ってがんばっていきたいです。



☆☆議長選挙☆☆

中学生の立候補者一人ひとり演説を聞き、投票していきました。そして、僕達をひっぱっていってくれそうなリーダーが決まりました。その人達をぼくたちが支えていくために、本会ぎまでがんばって、本会ぎを成功させたいです。



いよいよ2019年度の子ども議会がはじまりました！今年度の子ども議会には、18の小中学校から小学生19名、中学生18名の子ども議員が参加しています。10月20日の本会議に向けて、他の学校の友達とも協力しあいながら頑張っていきましょう！（青少年・女性活躍推進課 松本）

ふくやま 子ども議会通信

第2号 2019年8月9日



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第2号 広報委員 今川 沙稀 ・ 藤井 萌音



7月26日(金) ★★第1回事前学習会★★



最初は市政についての学習をしました。
福山のことについて知る機会が少なかったので、
福山について知ることができてよかったです。

市政についての話を聞いていく中で、
福山の町ってこんな仕組みなんだと、
知らなかったことがいっぱいありました。

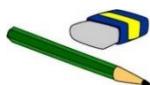


私たちの班では、福山駅前の活せい化について、
どうしたら駅前に人が集まるのか1人1人が
課題を見つけて紙に書き、福山市にどうやって
提案・質問するか考えました。

1人1人が考え、福山の活せい化について
考える機会がいつもだとないのでよかったです。

今回、私たちは5つのグループにわかれて
提案することになりました。

グループをわけるにあたって、まずは自分たちが
提案したいことについて一人二案考えました。
集計し、まとめていくと、私には思いうかばなかつた
いい案があって「私もこの案について議場で
提案したい!」と思いました。



今よりもさらに活気あふれる
福山市になるための取り組みとして、
よりよい提案ができるよう、
積極的に自分の意見を発表したいです。
頑張ります!



ふくやま 子ども議会通信

第3号 2019年8月23日



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第3号 広報委員 松本 拓真・新良貴 稜・足立 美咲



8月2日（金）☆☆第2回事前学習会☆☆



はじめて顔合わせをしました。
たくさんの意見が出て、発表の方向性が
おおまかに決まったと思います。
この調子で本会議へ進んでいきたいです。



各委員会に福山市の担当課が
ついてくださいました！



8月8日（木）☆☆第3回事前学習会☆☆

この学習会で今の福山の課題を見つけ、
それに応じた質問や提案を考えることができました。
リハーサルや本番に向けて最後まで
がんばりたいです。

高校生サポーターがたくさん
アドバイスしてくれました♪



本会議で掲げる
フリップを作成中



福山について、たくさん学ぶことができました。
子ども議会当日も頑張ります！！



ふくやま 子ども議会通信

第4号 2019年10月25日



福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

TEL(084)928-1046 FAX(084)927-9121

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp>

E-mail:seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

第4号 広報委員 小田 啓弘



9月14日(土) ★☆子ども議員 高校生議員 合同学習会☆☆



遊具を造っているタカオという
会社の方に「ものづくり」について
講演をしていただきました。



自分が知っている備北丘陵公園も
ファミリーパークも造っていると聞いて、
タカオは自分たちの生活に深く関わっているんだと驚きました。

10月20日(日) ★☆リハーサル・本会議☆☆

今日は、議場でリハーサルをして、本番をその日の
内に行うという忙しい日でした。でも、議場に立って
発言をするというのはなかなか体験できることでは
ないので楽しかったです。



今回で今年度の活動は終了ですが、
これからは「考える」ことを学校でも
真剣にやってみようかな、と思いました。



第 2 章
感想文集

駅前活性化推進委員会 交通・移動グループ

福山市立川口小学校5年 藤谷 快生 『子ども議会で楽しかったこと』

ぼくは、初めての子ども議会でいろいろなことがわかりませんでした。でもいろんな人がわからない所を教えてくれて知らなかったことがいっぱいでおどろきました。文や絵をなかまといっしょに書いたり、会話がふえたりしてよかったです。そして、タカオさんの話も知らなかったことやすごいなーと思えることがあってすごく楽しいしおもしろい話でした。

今まで知るきかいないことや知ってそうで知らないことがいっぱいあって、「あーこんなものがあるんだなー」と思いました。今まで知れないことが知れてよかったです。また、子ども議会をやろうかなと思っています。

福山市立川口小学校6年 石田 彩寧 『議会を通して成長したこと』

私が議会を通して成長したことは、2つあります。

1つ目は、議会で発表するとき、堂々と発表できるようになりました。リハーサルの時は、きんちょうして、堂々としゃべることができませんでした。けれど、リハーサルで一回失敗したのでもうしないようにと思いながら、本番は堂々としゃべりました。少しつまってしまっただけれど、リハーサルや練習の時よりは上手になったと思います。

2つ目は、仲のいい友達ができただけです。最初は学校の子しかしゃべる相手がいなかったけれど、子ども議会の学習会をこなしていくうちに、ちがう学校の子や高校生サポーターの方と仲良くなれて、いろいろなことを話せるようになりました。

私は、この子ども議会に参加して、この2つのことができるようになったので、来年もしたいです。

福山市立幸千中学校1年 今川 沙稀 『子ども議会』

「文章力」、これが子ども議会を通して私についた力です。

私は班の中で原稿を書く担当でした。自分の考えはもちろん、班のメンバーの意見も文章にしていくことは私にとって難しいことでした。自分の思っていることだけでなく、他の提案もまとめていくにあたって、どんな言葉を使えば伝わりやすくなるかというのを考えながらつくったので、完成するまでに時間がかかりました。より良い提案書にするために班のメンバーや高校生サポーターにアドバイスをもらうこともありました。そのおかげで、納得のいく文章ができました。

2度目の参加となった今回の子ども議会は、私にとって貴重な経験となりました。

福山市立幸千中学校1年 藤井 萌音 『初めて』

私は初めて子ども議員になりました。子ども議員になろうと思ったのは小学6年生の卒業シーズンの時でした。友達の今川さんに、「いっしょにやろう。」と言われたのがきっかけです。最初は内申が上がると思ってやろうと思ったのですが、話し合いを進めているうちに自分の考えたことが実際にあってほしいと考えるようになりしました。

子ども議会では、きんちょうや楽しさ、いろいろな感情がでてきました。本番では自分の意見がちゃんと大きな声で言えてよかったです。この子ども議会では初めてがいっぱいで、いい経験になったと思います。

この経験を活かしてふだんの生活でも、自分の意見を言っていきたいと思います。

福山市立幸千中学校2年 門田 小春 『子ども議会で学んだこと』

私が子ども議会を通して学んだことは、仲間と協力することです。自分の意見をたくさん言えて、みんなにも考えが伝わったと思うし、はっきりと思っていることを言うのは気持ちいいなと思いました。

大変なこともたくさんあって意見が合わなかったりしたけど、すごくやりがいがありました。興味がわいてやってみただけど、本当にしてよかったです。

ちがう学校にも友達がたくさんできたのでいい思い出になりました。まだやったことない人たちにもしてほしです。

駅前活性化推進委員会 活性化グループ

福山市立蔵王小学校6年 葛原 秀悟 『子ども議会』

ぼくは、初めて子ども議会に参加しました。初めはとてもきんちょうしたり、不安にかんじていました。でも、回数を重ねるごとに、知らない学校の人たちと仲良くなれました。

仲良くなれたので、意見をしっかり伝えることができたと思います。

それから中学生の人たちが声をかけてくれたのも良かったです。

本会議では、大ぜいの前で発表ができました。無事に発表ができ、市長さんに答弁を求めることができ、自分に自信が持てました。

サポートをしてくださった全ての方に感謝の気持ちを伝えたいです。

福山市立曙小学校6年 星山 葉月 『子ども議会で学んだこと』

私は今回の子ども議会を通して、2つの事を学びました。

1つ目は、福山についてです。議会を進めていくうちに、福山に住んでいても、知らなかった場所やイベントがたくさんありました。

また、私は駅前活性化のチームに入っていたので、駅の利用人口などふだんでは知ることがないようなことも学ぶことができました。

そして福山のことをもっと知りたいと思いました。

2つ目は、仲間と協力して何かを成しとげる大切さについてです。昨年私は子ども議会を通して一人で物事を行うより、みんなで行う方が楽しく、達成感を感じることができると知りました。今年は、昨年の経験を活かし、同じ委員会の5、6年生で集まった時、みんなが自分の考えを言えるよう、発表していない人に話をふったりして、発言しやすいふんいき作りを心がけました。そのおかげでみんなとの距離が縮まり、仲間としての良い関係が築けたと思います。

このような素敵な体験ができて良かったです。来年も参加しようと思います。ありがとうございました。

福山市立中央中学校2年 足立 美咲 『自分を変えるきっかけ』

今回の子ども議会では、自分を変えるきっかけを2つつかめたと思います。

1つ目のきっかけは、文章を書くことです。私は、文章を書くことが苦手です。なかなか伝えたいことがうまく書けず、いざ書いてみても、内容が伝わりにくいことがありました。でも、今回の子ども議会の活動で積極的に文章を書くことに挑戦し、どう書けば伝わるか、どのような言い回しが適切かを考えて文章を書くことができました。この経験は、文章を書くことが苦手な自分を変えるきっかけになりました。

2つ目のきっかけは、相手の意見の尊重することです。私は、人に意見を押し付けてしまうことがあります。でも、今回の子ども議会の活動で相手の意見を尊重し、自分の意見と合わせてより良い提案を考えることができました。この経験は、人に意見を押し付けてしまう自分を変えるきっかけになりました。

今後は、この経験を普段の生活に活かせるように一生懸命努力したいです。



盈進中学校2年 葛原 夢依 『議長を通じて』

私は子ども議会を通して仲間と協力し考えを出し合いそれを発表し、自分たちの力で何かを変えるという事を学びました。

みんなが顔を合わせた認定書交付式と同時に議長選挙が行われました。演説の末、私は議長にならせていただくことができました。小学生の頃からあこがれていた議長になることができ、さらにやる気がわいてきました。小・中学生あわせて40人近く。こんな多くの人数をしきったのは初めてでした。初めは自信がない中でもみんながついてきてくれて自信を持つことができました。本会議では全員言いたい意見を述べることでできていて本当に充実していました。

私は今回の参加で3回目でした。来年も参加をしたいと思っています。来年はもっと成長した姿で今年より多くのことを吸収できるようになりたいです。

福山市立幸千中学校2年 竹森 咲結 『子ども議会を通して』

私はこの子ども議会に参加するのは2回目でした。小学生の時にしたときには、自分の意見は言えず、ただみんなの意見に合わすことをしていました。けれど、今回中学生ということで委員長をさせていただきました。みんなから意見をもらうことやまとめることは思った以上に難しく大変でした。でも自分たちが協力してつくった文やフリップはとてもやりがいがありました。

貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

暮らし・居場所づくりサポート委員会 高齢者グループ

福山市立中央中学校1年 酒井 茉莉子 『少し特別だった子ども議会』

私は今回、中学生として初めての子ども議会でした。小学校5、6年生のころもやらせていただきました。今回で3回目でしたが、少し特別でした。それは、中学生という立場として、色々小学生の子たちのお手本にならなければという気持ちがあったからです。

今回私は、高齢者について考えました。そして、高齢者の集いの場の周知はどうすればよいかということを考えました。私たちは3人だけでしたが、高校生サポーターの方、関係課の方に助けられ、本会議は成功したと思います。また、私たちは、高福様をつくりました。高福様を使い、高齢者のみなさまにPRしていただけたとうれしいです。また来年も応募し、できれば議長や副議長として議会を引っ張っていけるようになりたいです。

福山市立中央中学校1年 通山 愛唯 『子ども議会を終えて』

私は、今回で3回目の子ども議会でした。私はこの子ども議会で、自分の意見を主張することができました。普段はあまり意見を言わない方なので、良い機会になりました。

事前学習会では、福山について知ることができたり、初対面の人とコミュニケーションをとれたりして、学ぶことが多かったです。

議会本番では、普通は入ることのできない議場で議会ができて、良い経験になったと思います。グループごとにした質問に対する答弁を聞いて、もっと福山に親しみが持てました。

今回は、話し合いの回数が少なく、グループ分けの仕方、テーマの決め方など異なる点が多かったと思いました。けれど、忙しくなる中学生にとっては回数が少ない方が良かったです。

これからは、この議会を通して学んだことを活かして、自分の意見をしっかりと伝えていきたいです。

福山市立中央中学校1年 増田 柚花 『子ども議会を通して』

私は子ども議会を通して、以前よりもより自分の意見をはっきりと言えるようになりました。自分たちで文を考えたり、提案するもの、またはキャラクターなど自分で考え、それを文章にする、ということが身につきました。知らない学校の子と交流できたり、高校生サポーターの方達には学習会の時には「ここはこうした方がいいんじゃないかな」などたくさんアドバイスをくれたり、分からないことは分かりやすく教えてくれたので、スムーズに進めることができました。

子ども議会に参加したことでたくさん経験できて得ることができました。ありがとうございました。この経験で得たものを学校でも活かせたらいいと思います。そしてまた来年も参加できたら参加したいと思っています。

本当にありがとうございました。

暮らし・居場所づくりサポート委員会 障がい者グループ

福山市立西小学校5年 毛利 美諭 『貴重な経験』

子ども議会を経験して、得たものは2つあります。

1つ目は、自分の意見の伝え方というものです。どう説明すれば、相手に納得してもらえらるだろうかなど、相手の頭の中を考えて伝えることを努力しました。

2つ目は、努力して何かをつかむことです。私は、高校生サポーターにあこがれました。私も、たよりがいのある人になりたいと思いました。サポーターの中に広大附属の人がいました。私は同じ学校に行きたいと思ったし、尊敬する気持ちを持ちました。

私は、子ども議会で得た2つが将来役に立つようにしたいです。

福山市立伊勢丘小学校5年 山口 誠貴 『福山市のために出来る事』

僕は、子ども議会に出て、障がい者、老人福祉の班に入り、自分の経験やみんなのために出来る事を考え、まとめました。この冬から手話教室に入って学習していく事にしています。もしもの時や、聴覚障がい者にあいさつをして喜んでもらえるようにしたいです。

そして、事前学習でタカオさんの話を聞いてからは、近くの公園の遊具をよく見るようになり、遊具にすごく興味をもちました。近くの公園にもタカオの遊具は沢山あり、タカオってこんな身近なんだと思いました。

そして、そんな事前学習を通して、福山のことを沢山知りました。

この経験から、障がい者については、いろいろな工夫がほどこされているけど、高齢者には、みんなふつうの目で何も気にせず見ているから、もっとやさしく見ないといけないのではと思いました。そして、僕の地域でも、歩行者に優しくない運転をよく見ます。ローズマインドはどこに行ったのかなと思います。

福山市立中央中学校1年 牧本 晴香 『初めて子ども議会に参加して』

私は、はじめて参加して、知らない人しかいないから大丈夫か心配でした。

グループを決めたとき、はずかしくて話せませんでした。

意見を出すところで、はずかしかった私は、何も言っていなかったときに、「はるかちゃんの意見は？」と聞いてくれたことにより、自分の意見を言えるようになりました。そして、どんどん話すようになり、友達になれました。

当日、発表はすごくきんちょうして、まちがえるかと思ったけど、終えてからはこのグループでよかったなと思えました。

この子ども議会では、自分の意見をはっきりということができました。これからも自分の意見をしっかりと伝えていきたいです。

次も参加したいです。

福山市立神辺中学校2年 寺地 沙織 『みんなに伝える方法』

私は、小3から手話を学んでいます。

母さんと一緒に手話で話す楽しさをみんなにも知ってほしくて、子ども議会に参加しました。

全員で37名でしたが、手話ができる人はいなかったことが残念でした。

福山市でも手話を広げて欲しいと、市長さんをお願いをしました。福山市でも前向きに取り組んでくれる話ぐできたことは、うれしかったです。

相手に自分の意見が理解され、たくさんの人々の多くの情報を1つにまとめる難しさは勉強になりました。

これからも手話だけではなく、いろいろな人々に福山市の良い所をたくさんアピールしていく人間になりたいと、強く思いました。

ICT 教育推進委員会

福山市立伊勢丘小学校5年 高延 あい 『子ども議員になってよかったこと』

私は、たくさんの学習をして、「福山ってすごいなあ」と思いました。

理由は、いろいろなイベントをしていたり、より住みやすい町にするためにがんばっていたからです。

さらに、私はみんなの前でハキハキとしゃべることの力がつけられました。

来年も、よりよい福山にするつもりで子ども議会に参加したいです。

福山市立日吉台小学校5年 武田 あさひ 『子ども議員の楽しさ』

私が子ども議会に参加して感じた事は、学校も学年もちがう人といっしょになって、一つの物を作る事の楽しさ、大変さです。

皆で意見をだしあっていくうちに、福山市にこんなことあったんだなど、福山市についてたくさん知る事ができ、子ども議会を通して友達ができました。意見をはっきり相手に伝えるというのを意しきしました。やっぱり学年などがちがうと意見が割れて頭をかかえる事もありました。でも、高校生サポーターの方々などに助言をもらい、何とかがんばって作り完成した時には、達成感でいっぱいでした。

このように、苦労しながらつくった物は、できた時は笑顔が出てきます。私は子ども議会に参加してから積極的になれました。子ども議会は、福山市の人と交流できる良いきかいだと思いました。次回も参加したいです。

福山市立中央中学校 1年 新良貴 稜 『初参加の子ども議会』

「子ども議会」、初めての参加でした。

まず、認定書交付式から始まりました。周りは知らない人が多く、緊張と不安でいっぱいでした。しかし、認定書を受け取ると、「これから頑張っていこう!!」という気持ちになり、心が引き締まりました。

次に、事前学習会がありました。テーマを決め、各班に分かれての活動でした。他校・他学年の人とたくさんの意見を出し合い、話し合いを重ね、じっくりと考えました。

それから、第2回・第3回の事前学習会では、福山市のことを多く学習でき、リーダーシップや仲間と協力することの大切さも学びました。

最後に、子ども議会に参加して強く思ったことがあります。それは、自分に自信がついたことです。枝廣市長・三好教育長にもお会いできてうれしかったです。僕も、カッコいい男性になりたいと思いました。

貴重な経験を、ありがとうございました。

福山市立福山中学校 2年 小田 啓弘 『知らないを知ってるに変えるのは楽しい』

子ども議会は、とても楽しかったです。今までやらなかった、市への質問書を書いたり、市の問題点を考えたりする作業は頭が痛くなることもありました。しかし、今までやらなかったことをすることはおもしろいな、とも思いました。

また、普通なら1回も話さないであろう他の学校の同学年や下の学年の人とも話せて、「知らない人との関係を築いていくことはわくわくするな」とクラス替えや入学式のときの気持ちを思い出しました。

さらに、普段入ることのできない議場に入れたのもいい経験になりました。自分の知らない世界、場所を見ることはとてもおもしろいです。

ぜひ、これからも「自分のやらないこと」「自分の知らない人」「自分の知らない場所」をまた体験してみたいなと思いました。この3つのことは無くさないでほしいと思います。

福山市立福山中学校 2年 縄 恵太 『子ども議会』

僕は今回、子ども議会を通して思考力がすごく鍛えられました。僕たちの今回のテーマは ICT 機器や電子黒板付きプロジェクターの導入などが僕たちに与えられた議題でした。初めはどういうところから手を付けていいのか考える時間が多いのかなと思っていましたが、さくさく作業が進んですごいなと班のみんなを尊敬していました。話し合いを進める度に良いテーマがどんどん出て来てスムーズに進めることができました。途中わからないことがあって考えることもあったけど、それをどんどん解決していきました。人それぞれの意見もある中で、みんなが上手く意見

をまとめて新しい意見を提案することがたくさんあって、すごいなと思っていました。

本会議の日はしゃべることはなかったけど、自分の役割をしっかりとこなすことができました。来年で最後の子ども議会なので、悔いの残らないように一日一日を大切にし、できれば議長もできたらなと思いました。

福山市立城北中学校2年 新田 晟 『福山市子ども議会で学んだこと』

僕は今回、子ども議会を経験して多くのことを学ぶことができました。

1つ目は、僕のグループは小学5年生から中学2年生までいたので委員長と協力して分かりやすいように話を進めていき、原稿をまとめました。

2つ目は、僕はあまり IT などに関心がありませんでしたが、みんなで調べたり先生からの説明を聞き、フリップ等にまとめ、関心や興味を持つことができました。

3つ目は、市長さんや教育長さんへの質問をすることができた事です。自分たちが調べたり聞いたりしたことを原稿やフリップ等にまとめました。まとめたものを質問すると、市長さんや教育長さんが具体的に答弁して下さい、たくさんを知ることができ、大変勉強になりました。

このように、普通の学校では学べないことを多く学ぶことができ、良い経験になりました。ありがとうございました。また来年参加出来たら、議長に立候補し、頑張りたいです。

福山市立幸千中学校2年 松本 拓真 『3回目の子ども議会で学んだこと』

僕は小学校6年生から子ども議会に参加し、今年で3回目の参加です。3回目の参加でも新しく学んだことや感じたことがたくさんありました。

1つ目は同じ委員会の仲間と福山市のことを考えることの難しさ、楽しさです。今回の子ども議会では ICT 教育について発表することになりましたが、どのように勉強しやすいように活用できるのか、取り入れることでどんないいことがあるのかを考えるのがとても難しかったです。しかし普段学校で話さないような話題についてみんながどう思っているのか話し合うことは滅多にできるものではなく、とても面白かったです。

2つ目は、たくさんの人と関わることの楽しさです。子ども議会では他校生と関わるだけでなくタカオの会長さん、市長、教育長、市役所の職員の方々など関わります。この関わりでコミュニケーション能力などといった力がついたと思います。

今回の子ども議会も会場までの電車代やアドバイスをしてくれた両親、発表に向けて的確なアドバイスをしていただいた市役所の職員の方々などたくさんの支えがあったため、充実した発表をすることができました。本当にありがとうございました。来年もぜひ参加したいです。

自然破壊防止委員会

福山市立伊勢丘小学校5年 上野 凜人 『子ども議会で得たもの』

ぼくが子ども議会で得たものは2個あります。

1つ目は、行動力です。なぜかと言うと、子ども議会はみんなが出来る事ではなく、かぎられた人たちだけが出来る事なので、出れなかった人の分もがんばらないといけません。しかしその出れなかった人も出た人もあるのは、行動力だと思います。そんな行動力のある人だから、とても良い議会になったんだと思います。

2つ目は、発言力です。なぜかと言うと、あの議会が成立したのは、みんなの発言力のおかげだと思います。ぼくはまだ発表してないけど、友達などを見て、内心すごいなあ~とったり、来年は自分もあそこに立って市長さんや子ども議会の人たちにハキハキと言いたいです。

来年もまたできれば子ども議会に入って、だんの上でしっかりと発言したいと思っています。この経験を次に活かしたいです。

福山市立伊勢丘小学校5年 北川 悠登 『子ども議会で感じたこと』

ぼくは、この子ども議会をやって良かったことが3つあります。

1つ目は、自分の意見を積極的に言うことができたということです。みんなでグループになった時に今の自分の意見はどれほどなのか、みんなは自分の意見を分かっているか、話し合いの中で確認することができたからです。ぼくの班は、小学生が多かったから、話しやすかったです。担当の人がぼく達の意見を引き出してくれたから、スムーズな話し合いになりました。

2つ目は、相手の意見を聞いて、自分の考えの参考にして、考えを広めれたということです。自分にはない相手の意見だったり、担当の人がアドバイスなどをしてくれたから、自分の意見と比べて考えることで、より良い意見になり、より良い福山になると思います。

3つ目は、議場に入って、実際に市長や教育長に質問できたということです。ぼく達は議場で市長などに質問するのはめったにない貴重な経験なので良い子ども議会だなあと思いました。

これからの学校生活や日常生活でも自分の意見を言ったり、人の意見を聞いたり、えらい人に実際に質問などをしていき、子ども議会をきっかけにがんばっていきたいなあと思います。



福山市立津之郷小学校5年 藤村 颯真 『きちょうな体験』

ぼくは、子ども議員というきちょうな体験をさせていただきました。

それは、議場に入り、自分の意見など色々な案をみんなと出し合ったりするなど、いろいろな体験をさせていただきました。

そして、この経験を活かし、人前にでたり、人の話に耳をかたむけるなど、学校で実践したいと思っています。それから、来年も子ども議会に応募したいと思いません。

本当に、子ども議員というきちょうな体験をさせていただきありがとうございました。

福山市立御幸小学校5年 柳川 稜空 『初めての子ども議会』

ぼくは、今年初めて子ども議会におうぼしてみました。

はじめはなんとなくでしたが、活動を進めるうちに、福山市のことを動かすことのできるようなものだと気づき、せきにんの重さを感じました。

ぼくは、大気おせんのことをグループで学び話し合いました。

あまりふだん市民の方々は気にしないようなかんじもする大気おせんですが、調べていく中で何十個もぼくの知らない記号がでてきていたりもしていました。

そのことからいくつかにしぼって、たとえばアイドリングストップ、信号の待ち時間にエンジンを切ったりする取り組みなどを市長さんの前で発表しようと思いました。

きんちょうしたけど、福山のことをと思うとがんばろうと思う気持ちになりました。このことは、学校でも活かしていきます。

きちょうな体験をありがとうございました。

福山市立引野小学校6年 平岡 愛菜 『子ども議会を通して』

私は子ども議会に出て、成長したことと、よかったことがあります。まずよかったことは、「自分に自信がもてた」ことと「人前で堂々とできた」ことです。自分に自信がもてたことは、議会をする前は自分に自信がもてずにみんなと話せずにいきました。けどみんなと少しずつ協力していくと自分に自信がもてるようになりました。しかもグループの仲も深まり、本番は完ぺきでした。次に、人前で堂々とできたことは、学校で人前で話すのが少し苦手だったけど、議会を通して少しきん張しただけど堂々とできました。なぜかという、事前学習でしっかりコミュニケーションがとれたからだと思います。

この議会で成長したことを、生活に活かし役立てていきます。次はもっと議会で話したいです。

福山市立引野小学校6年 横平 菜緒 『子ども議会を経験して』

子ども議会を経験して良かったところは、ふだんではできない経験ができてとても楽しかったです。顔合わせのとき少し不安だったけど、やってみると不安はなくなってとても楽しかったです。

タカオ株式会社の人に来て話をきいたときは、とてもこの会社に入りたいなと思いました。

この経験をこれからの人生に活かしていきたいです。

福山市立加茂中学校1年 山本 憲誠 『仲間と共に』

ぼくは、今年の子ども議会を通して、話し合いをして意見をまとめる力、班をまとめる力、決断力がつきました。

ぼくは去年も子ども議会に参加しましたが、そのときついた力、知ったことは、他人の意見を取り入れる力、意見をまとめることの利点でした。しかし今年は、この3つの力がつきました。それは、今年の僕の立場が委員長だったからです。そのため、僕は意見をまとめたり班をまとめたりする中でこの力がつきました。また、仲間と協力することでさらによりよいものが作れるということも知りました。

このように、委員長に挑戦したから、そしてみんなに支えられたから、この3つの力を身につけることができました。

この経験を活かして色々なことに挑戦し、色々な力を身につけ、一步一步成長していきたいです。そして機会があればまた応募し、みんなと協力して福山をよりよくしたいです。

地域の人と交流 Let' sGo 委員会

福山市立樹徳小学校5年 川上 ヒロ 『子ども議会を通して』

僕は、この子ども議会を通して、福山のこと、市政のこと、タカオ株式会社のことを知りました。この中からとくに福山のことを心に残りました。福山の知っていたこと、知らなかったことがあって、福山ってすごいな～と思いました。

議場で本会議をしたときに、このような広い所で議会をすると知ってびっくりしました。

この子ども議会を通して、発表する時にどのようにして言うと良いか分かりました。そして発表の時に言いやすいように書き方を工夫して書けました。

このことを学校などで活かしたいです。

福山市立樹徳小学校5年 鈴木 孝明 『議員を経験して』

5年生の自分にとっての感想は、まず、議員の全員が話し合い等に参加できることです。

僕は初めての子ども議会でしたが、日常生活から考えた意見を出して、考えることができ、良かったと思います。また、色々な資料を用意していただいて、福山の歴史やばらについて家で確かめることができて便利でした。

次に、様々な人を招いて演説していただいたことです。資料だけではなく、実際に取組んでいる人の話を聞くことで、知識が高まりました。例えば、タカオ株式会社の人の話は、資料には書いていない情報を分かりやすく説明してくださいました。

子ども議会を経験して得たことは、福山市の知識です。福山市についてもっと知り、初めて知ったこと、めずらしいことを色々な人に教えて、広げていきたいです。

福山市立引野小学校6年 田邊 凜子 『スタート』

今まで子ども議会というものを知りませんでした。しかし、学校で先生にすすめられて、やってみようと思いました。最初の式ではいろんな子がいて少しきんちょうしました。でも後から実感がわいてきて、楽しくなりました。本番ではいつもより早く来て、そして、リハーサル、本番はつづけてなのでうまくいくか心配でしたがなんとかやりきることができ、嬉しかったです。そしてなんとも嬉しかったのは、記念品の図書券です。これで本も買えるし、いろんなことに使えるのでよかったです。ありがとうございます。これからは、私たちが体験したことを多くの人たちに広めて、子ども議会が誰でも知れるように、クラスで話し合ってみたいと思います。

子ども議会と一緒に活動された方、「本当にありがとうございます」。

これからもこの経験を活かします。

福山市立引野小学校6年 間 実紅 『ふる里の福山をよりよい町にする一員』

子ども議会を通して今ある福山をもっとよりよくするために意見を言えて少しでも少しずつでもよくなる、自分の意見が実現すると思うとうれしいしワクワクしています。

実際に市長や教育長の前で意見を言って、意見を言うことに自信ができました。自分は人見知りで他の学校の子とあまりしゃべれなかったけど、同じ班の子と少しは話せて少しだけ人見知りをこくふくすることができて福山のことだけでなく人とのかかわりも勉強できました。

自分とちがう班の人の意見を聞いて自分もこうなったらいいなと意見をたくさん考えられたりみんなにたくさん意見をいえるようになってよかったです。

福山市立宜山小学校6年 廣兼 優衣 『子ども議会をしてみて』

10月20日の本会議では、みんな各班で話し合ったことを、ハッキリと分かりやすく伝えていました。私も、市長さんたちに分かっていたできるようにいっしょうけんめい伝えました。

私は、子ども議員を経験してみて、得た力が2つあります。①知らない子と協力する力、②自信を持って発表する力の2つです。①の力は、子ども議員の中に知っている子がいなかったから身についたと思います。交付式の時、知っている子がいなくておどろきました。だからこそ、①の力をつけることができたと思います。②の力は、本会議で身についたと思います。交付式の時に、返事の声が小さくて母に注意をされました。でも本会議のときは、しっかりと声を出せました。なので②の力をつけられたと思います。

私は、子ども議会に参加して、悔いのない活動ができたのでよかったです。①と②の力を活かして、来年も挑戦したいです。

福山市立城東中学校2年 藤井 萌百 『夢』

今回は子ども議会に参加させていただきありがとうございます。今年で3回目になりますが、今回は今までとはちがひ副議長という立場での参加でした。わからないことやできないこともたくさんありましたが、高校生サポーターのみんな、青少年・女性活躍推進課の皆様のおかげで無事議会を終えることができました。本当にありがとうございます。何から何まで助けてもらってばかりだったけど、そこから得ることのできた事はそれ以上にある、と私は思っています。それはみんなで学び考えることの大切さ、周りの人からの助けのありがたさに気づくこと、言い出したらきりがないほどです。私は将来、福山の魅力を日本、いや世界にも発信できるぐらいの力を持ち福山に帰ってきます。そして広島で一番有名な市にします。私は子ども議会を通して将来の夢を見つけることができました。今回は本当にありがとうございました。



「子ども議会」の運営にあたり、次の皆様に多大な御理解、御協力をいただきました。

○ 高校生サポーター

三浦 桃奈	(広島県立神辺旭高等学校)	岡田 真弥	(広島県立福山明王台高等学校)
金高 ひな乃	(広島県立松永高等学校)	吉澤 京香	(広島県立福山誠之館高等学校)
林原 伊吹	(広島大学附属福山高等学校)	金子 愛佳	(広島県立尾道北高等学校)
増田 花音	(広島県立福山葦陽高等学校)		

○ ものづくり企業

タカオ株式会社

○ 事前学習会講師、関係課

建設局都市部都市交通課	経済環境局環境部環境保全課
建設局都市部福山駅前再生推進室	市民局まちづくり推進部人権・生涯学習課
保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課	企画財政局企画政策部企画政策課
保健福祉局福祉部障がい福祉課	教育委員会管理部教育総務課
教育委員会学校教育部学びづくり課	議会事務局庶務課
経済環境局環境部環境総務課	議会事務局議事調査課

あしがき

福山市では、次代を担う子どものまちづくりへの参画を推進するため、2009年度（平成21年度）から「福山市子ども議会」を開催してきました。学習会を通じて福山について学び、よく知ってもらい、福山のことをもっと好きになってもらいたい、そして、ふるさとに愛着と誇りを持ってほしいという願いも込められています。

以来11回目となる本年度まで、多くの子どもたちが子ども議会に参加し、子どもの立場から市政に対する質問や提案を行ったことで、これまで様々な提案が実現されました。

これもひとえに子ども議会の趣旨に賛同し、格別の御協力をいただいた小中学校の関係者の皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

また、子ども議員経験者として子ども議員に寄り添ってくれた「高校生サポーター」の皆さん、その他、御協力をいただいた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。

この報告書は「2019年度（令和元年度）福山市子ども議会」のあゆみを振り返り、子どもたちのまちづくりへの参画を促す機会になればと作成いたしました。

福山市のすべての子どもたちの未来が、素晴らしい出会いと希望に満ちたものとなることを願い、お届けします。

2020年（令和2年）3月

福山市市民局まちづくり推進部

青少年・女性活躍推進課 職員一同

「2019年度（令和元年度）福山市子ども議会 報告・感想文集」

2020年（令和2年）3月

編集・発行 福山市 市民局 まちづくり推進部 青少年・女性活躍推進課

〒720-0067

広島県 福山市 西町一丁目 1番1号

(084) 928-1046